



コロナに勝つには症状があれば検査、無くても検査

新型コロナウイルスとどう闘うのか、Go Toやマスクで右往左往の安倍自公政権には新型コロナウイルスに勝つ為の方針がないように見える。

無症状者を見つける

隔離されるまで感染者はウイルスを撒き散らす。

PCR検査の二つの目的

PCR検査の第一の目的は症状のある患者がコロナに感染したのか、別の病気が調べて治療方針を立てること。だから、症状があったらすぐPCR検査をする必要がある。検査で陽性でも早く治療すれば重症化も防げる。隔離すれば感染が拡がらないようにできる。

ところが現状では、症状があっても、様々なハードルでPCR検査を中々受けられない。アベは「検査数増で、感染者増、即オリンピック中止」を心配。現実を無視しているようだ。結局、陽性が確定しますか？

PCR検査の第二の目的は、症状の無い感染者を見つけること。新型コロナウイルスは発症前からウイルスを撒くから「健康な」人を検査をする事が必要。第二波爆発の今、クラスター等狭い範囲の検査だけではダメ。ニューヨークのように誰でも何度でも街角で検査を受けられることが必要だ。

感染者を見つけ、症状が無くてもウイルスが無くなるまで、隔離すれば蔓延を防ぐことが出来る。

症状のある人は即検査。街角で無症状でも誰でも検査。これがコロナに勝つ道だ。

あなたはこう思われますか？

吉田町

神奈川県横浜市中央区吉田町

二〇二〇年七月



吉田町は関内から野毛に向かう所にある。関内駅北口を出ると伊勢佐木町の入口。そこで右に曲がると吉田町と云う訳だ。

この辺りは関東大震災や横浜大空襲で焼け野原になった。そこで一九五〇年代に耐火建築促進法により鉄筋コンクリート四階建ての共同ビルが建てられた。上層は住宅、下層は店舗。

上の階の赤い外壁は誰かの斬新なデザインかと思っただが、何と、建設当時、船底に塗る赤い防錆塗料が安かったため、それを使ったそうだ。

伊勢佐木町のような賑わいは無いが、画廊があったり、ちよっとおしゃれな店もある。

この界限は一七九号でも描いた。何故か心惹かれる街なので場所を変えて描いてみた。

